

Globe as a Palette;
Contemporary Art from The Taguchi Art Collection

タグチ・アートコレクション



光のエゾシカ、
ハコビに降臨。

球
の
パ
レ
ッ
ト

名和晃平
(PixCell-Deer #51)
2018年
courtesy of
SCAI THE BATHHOUSE
photo:
Nobutada OMOTE | SANDWICH

2019. 9.7 sat → 11.10 sun

北海道立函館美術館
HAKODATE MUSEUM OF ART, HOKKAIDO

観覧料＝一般900(700)円、高大生600(400)円、小中生300(200)円

()は10名以上の団体、前売、どうなんアートリンク、リピーター割引料金。
※前売り券は6月29日(土)から9月6日(金)まで、当館受付カウンターにて販売いたします(休館日を除く。ただし8月27日～9月1日、9月3日～6日は販売)。

主催：北海道立函館美術館 共催：北海道新聞函館支社 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか
協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社 企画協力：(株)タグチプロジェクト、アート・オフィス・シオバラ

開館時間＝午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)
休館日＝月曜日(ただし9月16日、9月23日、10月14日、11月4日は開館)、
9月17日、9月24日、10月15日の各火曜日

同時
開催

「ハコビ・コレクションの現代アート」
(鷗亭記念室・常設展示室)

9月7日(土)～2020年2月2日(日)
観覧料：一般260(210)円、高大生150(110)円

* ()内は10名以上の団体料金
中学生以下、65歳以上、高等学校の教育活動での観覧、
土曜日における高校生、芸術週間(11月1日～7日)は無料。
「球体のパレット」展と常設展を同時にご覧いただく場合、
一般1,010(910)円、高大生660(510)円となります。

ART
GALLERY
HOKKAIDO

beyond
2020

タグチ・アートコレクションは、実業家・田口弘氏、娘の美和氏の二代にわたって取り組まれている現代美術のコレクションです。1990年頃、キース・ヘリングの版画に魅せられて始まった収集は、いまや現代美術の動向を地球規模で概観するコレクションへと発展しています。

本展は、タグチ・アートコレクションを初めて北海道で紹介するものです。日本、アジア、アフリカ、中東、欧米のすぐれた現代アーティストの絵画、彫刻、写真、映像など、60余点を紹介します。紙袋、糸、土、剥製、ガラスなどの多様な表現素材と、創造的なアプローチから、視覚と感情をゆさぶるような力強い表現が生まれています。そこには、アーティストが生まれた国の歴史や文化、根拠地としている場所や社会の状況などが、色濃くにじんんでいます。地球をパレットだとするならば、現代アートは、そこにあらわされた多彩な絵具なのだということができるかもしれません。

三笠市出身の川俣正、別海町ゆかりの大竹伸朗、上川町出身のスキージャンプ選手・高梨沙羅をモチーフとする作品、エゾシカの剥製を用いた作品など、北海道ゆかりのアーティストや作品も注目です。「いま」に根ざして表現するアーティストの斬新な表現は、私たちの心に深い共感をよびおこすことでしょう。

タグチ・アートコレクション

Globe as a Palette;
Contemporary Art from The Taguchi Art Collection

世界のパレット



1



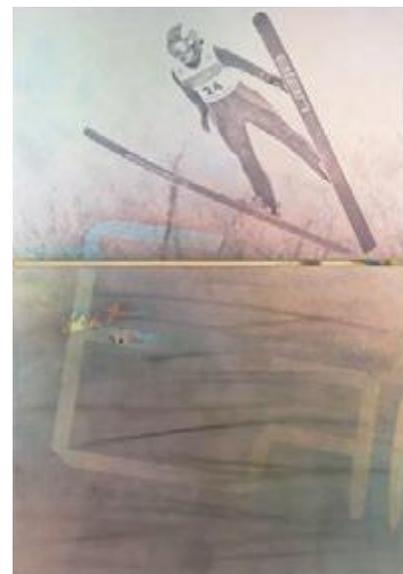
2



3



4



5



6

● 関連事業 [アートギャラリー北海道 みんなのアートプロジェクト]

ギャラリー・ツアー

日時：9月7日(土)、10月19日(土)、26日(土) 午後2時～(約30分)
会場：当館特別展示室(「球体のパレット」展観覧券が必要です)
講師：当館学芸員

美術映画会

日時：9月14日(土)「オルセー美術館I、II、III」
10月12日(土)「ナショナル・ギャラリー、テート・ブリテン、コートールド美術館」
11月9日(土)「ウィーン美術史美術館、オーストリア美術館、セガンティーニ美術館」
いずれも午後2時～(各約74分)
会場：当館講堂(定員80名、観覧無料)

はこだてカルチャーナイト 2019 ハコビ・ナイト・ ミュージアム

日時：9月27日(金) 午後5時30分～午後9時(入場は午後8時30分まで)
特別展「球体のパレット」展(有料)、常設展「ハコビ・コレクションの現代アート」展(中学生以下無料)、
ホール展示「アートにタッチ」(無料)を鑑賞いただけます。
作品に関するクイズもご用意いたします。ぜひお越しください。

松前高校書道部×木育 書道パフォーマンスとワークショップ

「金子鷗亭(川端文学燦文集)」展(11月22日～2020年2月2日)のプレ・イベントです。地元の道南杉の盾に、墨で言葉をしたためる体験に挑戦します。

日時：10月5日(土) 午後1時～4時(予定)
会場：当館講堂、当館特別展示室、当館常設展示室
参加料：一般1,400円、高大生1,000円、小中生690円
(いずれも常・特同時観覧料、材料道具実費、ワークショップ保険料込み)
講師：北海道松前高等学校書道部 協力：株式会社ハルキ

申し込み締め切り：9月26日(木)
対象：大人から子どもまで 20名
(小学生以下要保護者同伴)

申込み：メール、ファクスにて。件名に事業名、参加者の名前(ふりがな)と年齢、性別、住所・電話番号、メールアドレス・ファクス番号を明記してください。応募者多数の場合は抽選の上、締め切りの翌日に結果を通知します。
メールアドレス:hakobi.11@pref.hokkaido.lg.jp

募集制
イベント

「球体のパレット」展鑑賞授業

学校教育との
連携

函館市立巴中学校の美術の授業を、「球体のパレット」展鑑賞授業として行ないます。本展出品アーティストによるトーク、映像によるレクチャー、ライブ・ペインティングを通して、鑑賞体験を深めます。

日時：9月27日(金) 午後1時30分～(予定)
会場：当館特別展示室、講堂
講師：鈴木ヒラク氏(本展出品アーティスト)

*「球体のパレット」展内におけるアーティスト・トークは、本展観覧券をお持ちの方はどなたでも聴講いただけます。
*講堂でのレクチャー、ライブ・ペインティングは空間に限りがあり、一般公開いたしません。ご了承ください。

芸術週間 11月1日(金)～7日(木)

文化・芸術に親しむこの1週間、ミュージアム・コレクション「ハコビ・コレクションの現代アート」展を無料でご覧いただけます。すてきなプレゼント企画もご用意します。くわしくは当館にお問い合わせください。*11月4日曜日休日も休まず開館します。

交通 案内

市電：「五稜郭公園前」下車、徒歩7分
バス：「五稜郭公園入口」「芸術ホール前」「五稜郭病院前」「五稜郭」下車、徒歩3～7分
タクシー：JR函館駅より約10分/函館空港より約20分
駐車場：函館市芸術ホール駐車場をお使いいただけます。
*当館ご利用の方は駐車料金が2時間まで無料になります。

北海道立函館美術館
HAKODATE MUSEUM OF ART, HOKKAIDO

- 1 奈良美智《コスミック》2007年 ©YOSHITOMO NARA 2007
- 2 鈴木ヒラク《GENZO #29》2014年 ©Hiraku Suzuki
- 3 オノ・ヨーコ《Play It By Trust》1966年/2015年 Photo at MoMA by Ryan Mui ©Yoko Ono
- 4 マーク・クイン《世界の始まり》2010年 © Marc Quinn studio
- 5 ウェンディ・ホワイト《エラン(高梨沙羅)》2015年 ©Wendy White. Photo by IKKI OGATA.
- 6 川俣正《Iwamizawa project model-1》2016年 ©KAWAMATA 2016



〒040-0001 函館市五稜郭町 37-6 TEL.0138-56-6311 FAX.0138-56-6381
http://www.dokyoji.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hbj